

4月末組織人数
4,876人

岩手県連ホームページは
コチラからアクセス



建労いわて

発行所

岩手県建設労働組合連合会
教宣部

盛岡市本宮一丁目7番27号
電話 019-631-3280
FAX 019-635-4015
発行者 鈴木博三

けんれん主婦の会
第31回定期大会

名称変更を提案

多くの加入を願って

4月21日、紫波町ラ・フランス温泉館「ホテルゆらら」にて「けんれん主婦の会第31回定期大会」を開催。会員と役員24人が出席しました。

はじめに、柳本朱美主婦の会会長が「今年度は岩手が北海道・東北地方協議会（北東地協）主婦交流集会の担当県なので、

会員も一丸となって他県の方にも楽しんでいただけるような交流集会にしていきましょう」と挨拶されました。

次に県連の高橋清一郎会長は「母体の岩手県連を各単組が支えています。そして単組を支える青年部、主婦の会があります。一輪車ではなく四輪駆動

になる事で、安定走行が出来ます。みなさんのご協力で安定運営が出来る様に協力を賜りたいです」と話されました。

続いて柳本会長から「私たちは『主婦の会』という名称で活動をしていきますが、現在この名称では主婦しか加入出来ないと思われています。多くの女性の加入を願って、名称変更を提案します」と発言しました。



参加者全員でアトラクションの練習

また女性組合員宛にイベント案内やDM等の取り組みについての提案が行われ、参加者からは会員拡大や組合活動の悩みについて発言があり、高橋県連会長からアドバイスがありました。

その他、今年度県連組織部が取り組んでいる「交流チャレンジ」につ

北東地協

主婦交流集会

成功に向けて

いての質問があり、高橋豊彦組織部長から「交流チャレンジは県内や近隣の組合のイベントに各自が自由に参加するものです。良い内容は自分の組合でも取り入れてみましょう。人と人がつながる事で各組合の大きな起爆剤になると思います」と説

明を交えながら、組合員同士の交流について前向きな発言をされました。最後に「北東地協主婦交流集会を成功させよう」とガンバロウ三唱をして、和やかな雰囲気での閉会。

定期大会の後は、参加者全員で6月末日に開催される北東地協主婦交流集会の準備やアトラクションの練習を行って、定期大会の一切を終了しました。

【県連 阿部記】



名称変更について提案する柳本会長

私はこの役員です

西和賀技能者組合

理事

高橋 順一さん

建築大工



- Q1、現在の仕事を選んだ理由を教えてください。
- ・父が大工をやっていて、小さい頃から見ていてカッコいいと思ったからこの仕事を選びました。
- Q2、組合加入のきっかけを教えてください。
- ・勤めている事業所に入社と同じタイミングで、西和賀技能者組合に加入しました。

きぎずな

◆私は地元（大槌）の高校を卒業してから、釜石職業訓練校の冷凍空気調和機器設備科に入校。卒業後は、地元の水道設備工事の会社に就職して、約14年間勤務しました。

◆その後独立し、公共下水道が始まるタイミングで「有会社社TOMYSTEM」と言う会社組織に（法人化）して再スタート。そこから33年余りが経ち、今日を迎えております。

◆法人化しても組合に残るといふ決断をした理由は、みなさんとの「絆」を大切にしようという思いがあったからです。今は復興もひと段落して、建設業全体が震災前より厳しい状況に置かれています。建設業関連の仕事は今後更に大変だと思えます。

◆大槌建組は、前身から設立67年が経ちました。最近では、組合員の急激な減少により、存続が危ぶまれてきました。そこで足元の明るい内に釜石建設組合に7月から統合する事となりました。今まで皆様には大変お世話になりました。この場をお借りして感謝申し上げます。私は大槌建組のラストエンペラーです。教宣部員は続けていきます。

【教宣部 白澤 富久】

私のこだわり

遠野 佐々木 祐二さん



佐比内しし踊りの獅子頭などを見せて頂きました

私は遠野市で鋼構造物、建築金物等を加工する「佐々木機工」と言う鉄工業を営んでいます。近年は薪ストーブの製作依頼があり、年に数台納め、なかなか好評を頂いています。3人目の子供が産まれて間もなく立ち上げた会社ですが、おかげ様でお客様にも恵まれ、また遠野建設組合にも大変お世話になっております。

趣味と言う趣味もない私ですが、仕事に忙しい毎日でも取り組んだ1つに郷土芸能である部落で復活した「佐比内しし踊り」を紹介いたします。

遠野市の「しし踊り」は幕系と呼ばれ「しし」は前に垂れた幕を広げる様に踊ります。その他「種心へへ」「ふくへへ」「中たいこ」「刀かけ」「心え」「たいこ」などの役があり、子供から大

復活した郷土芸能

人まで一緒になって踊る様は壮観です。子供達が小さい時は、毎年開催される「日本のふるさと遠野まつり」にも参加していました。お祭りの1ヶ月前から地域の公民館で練習をするのですが、練習後はお酒を飲みながら意見交換し合うという楽しみもありました。

子供が通っていた保育園からも踊りの指導を依頼され、小さな子供たちや先生方までみんな一所懸命練習に取り組みました。それからは遠野市の友好都市のイベントにも多く出演し、地元住民とも懇親を深め今も交流しています。

今では、少子化で保存会の人数確保に大変な思いをしています。体の続く限りまだまだ頑張りたいと思っています。

4月11日、12日、東京「林野会館」にて全国国教宣（教育宣伝）活動者及び機関紙編集担当者会議が開催されました。参加者は25県連組合から62名（岩手4名）でした。

特別公演は秋田の青年部担当の前崎書記から「SNSの活用事例」の発表がありました。

前崎書記は「企業情報もSNSの時代」「一部では機関紙を読まずに捨てる」「誰かがやるのを待ってては遅い」と始めたきっかけとその後どのように投稿しているかわかりやすく説明されました。

岩手県連から特別報告



特別報告を行う岩手県連の鈴木書記

特別報告では岩手県連の鈴木書記が北東地協ミニ教宣についての報告をしました。「北東地協ミニ教宣は参加

しやすく、身近なところで交流、学習を目的に始められた。教宣のイメージが変わり、自ら投稿をしてくれる様になった」との報告でした。

2日目の分科会「SNS」では活発に発信をしている県連だけではなく、まだ始められていない県連など様々な立場での参加が見られました。

「目的によってSNSを選ぶ」「今を共有するツール」「発信は建設産業としての役割」「内容をこだわりすぎて迷走中」など多くの意見や質問が交わられました。

また「SNSを始めたが理解されない。組合員や書記局でも意識が薄い」といった県連ごとの温度差もありました。

全建総連（全建設労働組合連合）正垣教宣部長から「SNSのガイドラインを作成中。皆さんの声をもとに活用していきたいものを作り上げたい」と発言がありました。

【県連 教宣部長 鈴木記】

仲間には宝



今、ヨーロッパではサッカーのチャンピオンズリーグが開催されています。それを中2の息子と夢中になって見えています。

息子は小3からサッカーを始めると、海外サッカーに興味を持ち出し、今では私と息子

の共通の話題になっていきます。2人が好きなチームはプレミアリーグ（イングランドのプロサッカーリーグ）に所属している、息子はチェルシー、私はリヴァプールを応援しています。私も息子もリアルタイムで試合を見たいので、朝の4時や5時に起きて2人で熱く観戦しています。毎日のサッカーの会話は私の楽しみの1つになっています。

【金ヶ崎 青年部 佐藤 記】

この1枚 ナイスショット



上野動物園の入口そばで、パンダ模様の郵便ポストを見つけました。このポストに定型サイズの手紙やはがきを投函すると特別な消印を押してもらえそうです。

（岩手県連事務局より投稿）

5・6月行事予定

- ★5月
 - 15日～16日 中国国保 第335回 理事会（東京）
 - 16日 第3回 北東地協 幹事会（東京）
 - 16日～17日 第4回 中央執行委員会（東京）
 - 25日 石綿二次検診（盛岡）
 - 28日 県連三役会議（盛岡）
- ★6月
 - 1日 岩手県連青年部 第2回幹事会（盛岡）
 - 岩手県連青年部 第51回定期大会（盛岡）
 - 岩手県連青年部 結成50周年 記念祝賀会（盛岡）
 - 4日 県連会計監査（事務所）

編集後記

☆私は出かけていた事が多かったGWだった。その先々で、色々とサービシやご厚意を頂いてしまった。申し訳ない気持ちと感謝の気持ちで一杯になった。

☆その方々とは、長い付き合いをしてきている。人付き合いの大切さを実感したGWとなった。（章）